



平成26年4月30日

各 位

上場会社名 サノヤホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 上田 孝
(コード番号 7022 東証第1部)
問合せ先責任者 代表取締役副社長執行役員 森本 武彦
(TEL 06-4803-6171)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成25年10月30日に公表しました平成26年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。また、併せて特別損失の計上につきましてお知らせいたします。

記

1. 平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	1,100	800	100	3.07
今回修正予想(B)	46,700	3,350	3,400	970	29.77
増減額(B-A)	△ 300	2,250	2,600	870	
増減率(%)	△ 0.6	204.5	325.0	870.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	59,027	4,407	4,372	426	13.09

修正の理由

売上高は若干下回る見込みですが、損益面では主に新造船において円安及び原価低減により採算の向上が果たされたこと、また想定された新規受注船の受注工事損失引当金の計上を回避できたこと等により上記のとおり営業利益は2,250百万円、経常利益は2,600百万円それぞれ増加する見込みであります。当期純利益は別記の特別損失を計上しますが、経常利益の増加等に伴い前回予想より870百万円増加する見込みであります。

2. 特別損失の計上

第4四半期において、造船事業では、遊休不動産の時価下落及び借地返還に伴う土壤改良処理並びにホテル事業採算の低迷に伴う固定資産の減損損失507百万円、陸上事業では、所有する賃貸物件の採算の低下及び収益性が悪化した事業の固定資産の減損損失515百万円、計1,022百万円の減損損失を計上する見込みです。また豪州子会社の観覧車取得に伴い前事業運営権者との契約精算損229百万円を特別損失に計上する見込みです。

なお、連結業績には影響ませんが、個別決算において連結子会社の収益状況に徴し子会社株式評価損327百万円を特別損失に計上する見込みです。

なお、配当は期末配当として年5円を予定しており、変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上